

大きく期待！がんばれ！新社会人！！

新就職者激励会を開催しました



津坂下町雇用促進協議会主催による「新就職者激励会」が7月19日、津坂下町中央公民館で開催されました。

本年度は48名が町内の工場・団体・販売店・医療機関等に採用になり、勤務しています。

激励会では、「作文コンクール」の表彰があり、最優秀賞を受賞した長谷川菜央さん（株式会社太郎庵）が作品を発表しました。

最後に新就職者を代表して高橋恵美さん（社会福祉法人 両沼厚生会）が謝辞を述べました。

激励会終了後、エルベプランナーズ代表 水井ちおりさんによる「お客様の印象に残る接客マナー」と題して講演があり、新就職者の皆さんは熱心に聞き入っていました。



最優秀賞受賞作品

「地元企業に就職して」

長谷川 菜央
株式会社 太郎庵

動を進めていきました。しかし、求人少な、経済状況の悪化なども影響してなかなか上手く進まず、何度も悩み、地元を離れることも考えました。

今年四月、学生から「社会人」という、責任の重さもこれまでの立場とも全く違う一歩を踏み出しました。長い就職活動を経て、ようやく出会うことができたのが、この「太郎庵」という会社でした。

当初から、地元へ就職したいという強い思いがあり、就職活

そんな折、未曾有の大地震、東日本大震災が襲いました。多くの方が犠牲になり、何もかも失う、一瞬の出来事だったのだと思います。更に、福島県では原子力発電所の事故も影響し、「福島」に対するイメージが変わってしまったように感じます。放射線を気にし、不安な生活から逃れるため、多くの県民が地元福島を離れていきました。

平成24年度作文コンクール入賞者（敬称略）

▼最優秀賞

「地元企業に就職して」

長谷川 菜央

（株式会社 太郎庵）

▼入選

「社会人となって」

穴澤 文哉

（株式会社 佐藤電設）

▼優秀賞

「社会人となって」

高橋 恵美

（社会福祉法人 両沼厚生会）

「地元企業に就職して」

遠藤 恒太郎

（会津信用金庫 坂下支店）

「新社会人として」

小椋 ますみ

（株式会社 太郎庵）



しかし、私には、「こんな状況の今だからこそ、福島に残りたい、育ててもらったこの会津に恩返しをしたい」と改めて強く感じるきっかけとなりました。

今回、この大地震によって、福島がたくさん魅力が失われました。元の状態に戻すことは難しく、時間がかかることだと思えます。現在も立ち入りを制限されている地区もあり、復興も進んでいるとは言えません。こんな時だからこそ、今、自分が働かせていただけている環境に感謝し、家族揃って生活できることがどんなに幸せなのか、ありがたみに気付くことができますのだと思います。

お店には、「避難してきたんだ」とおっしゃるお客様もいらつしやいます。お話をすればするほど、どれだけ辛い思いをしてきたのが伝わってきます。だからこそ、笑顔になっていただくためにできることがないか、日々考えています。多くの出会いがあり、学びある職を持つことができ、幸せに思います。



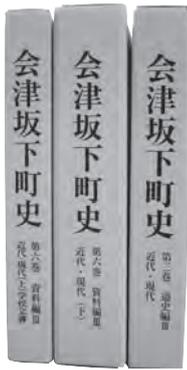
学校文書

会津坂下町史『近代・現代』
編から（発売中）

会津坂下町史は、「原始・古代」から「近代・現代」まで全十巻の発刊計画を立てております。町史編さん事業の最初の取組みが現在発売中の「近代・現代」の『資料編（上）学校文書』『資料編（下）』そして『通史編』です。

今年の四月からは第二段として、「原始・古代」の編さんに取組んでおり、平成二十七年までに『資料編』と『通史編』を刊行する予定です。

ところで、町史「近代・現代」の『資料編』を上下に分けているのは、小学校統合を前にして、各地区の小学校に所蔵されている貴重な資料を将来に残すために、学校文書として分冊したものであります。



町史『資料編（上）学校文書』（以下、『学校文書』）によれば、明治五年（一九七二）の学制発布以来、百四十年の歴史を持つ各地域の小学校

は子供達の学びの場であり、地域の人々にとっては心のよりどころであった。当時の小学校は地域の運営に任されており、給料未払いなど財政難の折は、地域の人々は届け物をして先生達を助けている。言わば、当時の小学校は地域の「コミュニティセンター」の一面も持っていたのであろう。このようにして日本全国どの町村も小学校の設立と歩調を合わせて発展してきたとも言える。そのことを物語る文書として、各小学校所蔵の「郷土誌」「学校沿革誌」「学校日誌」等があり『学校文書』に収められている。

なかでも「郷土誌」は火災、洪水、冷害などの記録から保健衛生や冠婚葬祭、そして、年中行事や地域の方言収集など多岐にわたっており、そこから当時の風俗を読み取ることができる。ただ惜しいことに、広瀬小学校だけ「郷土誌」が見つからず掲載されていない（この間の経緯についてご存じの方がおられれば、ご一報戴きたいところであります）。

この「郷土誌」は各小学校で編さんし、教育の現場で生かすことを目的とするものであった。教育を浸透させていくためには、その地域の歴史や風俗習慣、経済や文化等を知っておく事が肝要ということで、明治

四十四年（一九一三）と昭和七年（一九三二）の二回にわたり福島県知事訓令として編さんを命じられている。当時の日常生活においては、戦争や軍隊の存在は当たり前前の時代である。初回の明治四十四年の頃は言論統制も次第に厳しくなってきたおり、ストライキや経済不況の中「大逆事件」が明治四十三年（一九一〇）に起こっている。この時期、貧苦と闘う歌人石川啄木は『時代閉塞の現状』を発表し、言論界に活発な議論を巻き起こそうとする。また、森鷗外は『沈黙の塔』の短編を書き、陸軍軍医総監という体制側の立場ではあるものの、言論統制に対し間接的な表現で苦渋にみちた諦観を吐露している。そのような中、地方の各県の知事は、中央での世情不安定が地方に飛び火するのを心穏やかに眺めてはいられなかつたろう。既に長塚節が小説『土』で艱難辛苦にあえぐ農村生活の実態を書き、夏目漱石の激賞を受けていた時代である。また、民俗学者柳田國男は明治四十三年（一九一〇）に『遠野物語』を著し、郷土研究の気運を高めていた。

このような時代背景も「郷土誌」編さん事業推進の一因に上げられよう。一方『学校文書』に収められている「学校日誌」には、農繁期の児童

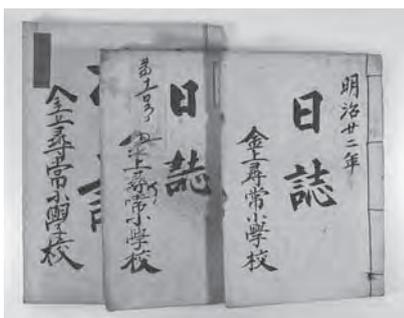
達の生活がうかがえる。例えば、金上小学校の「学校日誌」を見ると、明治三十一年（一八九八）の年六月六日から同二十五日まで農桑休業を設けている。農家の副業として養蚕業が盛んな金上村では、カイコのエサになる桑の葉の摘み取り作業に子供達の労働力が必要なのである。田植えの時期と重なるからだ。

時を経て昭和十七年になると、空襲警報発令や勤労奉仕、予科練合格の児童の壮行会などの記述が見られる。大人達と一緒に健気に銃後を守る児童達が目に浮かぶ。

それにしても、当時の学校関係者の簡にして明なる記録力の素晴らしさに感動すると同時に、戦争さえなければという思いが湧き上がってくるのである。

▼問い合わせ先

町史編さん室 ☎ 83・2234





図書室だより Vol.27

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日: 第2火曜日)



《おすすめの本 テーマ:「敬老の日」「十五夜」》

9月17日は「敬老の日」、9月30日は「十五夜(中秋の名月)」の日ですね。それぞれの日におすすめの本をご紹介します。

一般向け	百歳	柴田トヨ/著 飛鳥新社 2011.9 第46回新風賞特別賞受賞	子ども向け	かぐやひめ (いもとようこの日本むかしばなし; 6)	いもとようこ/文絵 金の星社 2008.8
	分類番号 911.5	ジャンル 日本の詩		分類番号 E	ジャンル 日本の絵本
<p>98歳で上梓した処女詩集『くじけないで』が150万部を超える大ベストセラーになった著者の第二詩集。「やさしさ」「百歳」など新作詩や随筆のほか、「被災者の皆様に」「被災地のあなたに」を収録。平易でやさしさ溢れる表現が素晴らしい。</p>			<p>千年よりも昔、日本で最初に生まれた「物語」が、このかぐやひめのお話(『竹取物語』)だと言われています。竹から生まれた美しい女の子、殿方の求婚話、不老不死の薬…。満月を見上げながらロマンチックなお話を楽しみませんか。</p>		
子ども向け	おばあちゃんすごい! (ピーマン村のおともだち; [9月])	中川ひろたか/文、村上康成/絵 童心社 2002.6	親子向け	きせつの行事りょうり :キッズレシピ(プレNEO BOOKS)	小学館 2008.2
	分類番号 E	ジャンル 日本の絵本		分類番号 K596.4	ジャンル 季節の料理
<p>園にやってきたおばあちゃん。「ひろたかなり」っていう子をさがしてるみたい。いっしょに遊んだら、お手玉、おりがみ、あやとり、こま回し…何でも上手で、いろいろ知っていて、すごーい! おじいちゃんおばあちゃんと遊びたくなる絵本。</p>			<p>小学館の「プレNEOブックス」シリーズ1冊目。四季の行事の中で、子どもが料理を作って体感できるものを由来とともに紹介。親子と一緒に「月見だんご」を作ってみませんか。(お彼岸の「おはぎ」も紹介されています!)</p>		

移動図書館あづま号の本を入れ替えました。



福島県立図書館の移動図書館「あづま号」は、年2回中央公民館への巡回貸与を行っています。

今年度2回目の入れ替えを9月中旬に行いますので、どうぞご利用下さい。

※あづま号の本は延長貸出ができません。ご了承下さい。

まちの話題



目指せ全国！ジュニアオリンピック相撲東北予選会に出場



8月9日、前列左から坂下小5年の菊池百音さん、広瀬小4年の江花拓くん、広瀬小4年の仙波倭祐くん、後列左から坂下小6年の板橋聖一郎くん、坂下小6年の千代直輝くん、坂下小6年の宇内裕仁くんがジュニアオリンピック全日本小学生相撲大会東北ブロック予選会と東北学童相撲大会への出場報告に町役場を訪れた。

7月に開催された福島県大会において上位に入賞し、東北予選会へ出場を決めた。

選手たちは、「優勝を目指してがんばる」と抱負を語った。

坂下中相撲部全国へ！



7月26日、左から1年の佐藤一晟くん、3年の宮下聖生くん、3年の三星治輝主将、2年の上野優人くん、2年の千代一貴くんが、県中学校体育大会で団体優勝し全国大会への出場報告に町役場を訪れた。

団体が優勝、個人オープンで三星くんが3位、個人3年生の部で三星くんと宮下くんが3位となり、団体と個人オープンの部で全国大会へ出場を決めた。

選手たちは、「支えてくださった高校の先輩や先生、保護者、地域の方々に恩返しするような相撲を取りたい」と抱負を語った。

陸上と卓球で全国へ！



8月2日、左から坂下中3年の五十嵐礼くん（陸上）、2年の小林寛美さん（卓球）が、全国大会への出場報告に町役場を訪れた。

五十嵐くんは県中体陸上競技の110m障害で優勝、その後、全日本中学校通信陸上競技福島大会で標準記録（15秒）をクリアする14秒72の大会新記録で優勝し全国大会へ出場を決めた。小林さんは、県中学校体育大会卓球の女子シングルスで2年生ながら優勝に輝き、全国大会へ出場を決めた。

五十嵐くんは、「全国では決勝に残れるよう頑張る」と、小林さんは、「初戦を勝ちたい」と抱負を語った。



育メン感想

娘は、保育所とごんを生活しているから前から寂しい感じがした。水とごはんは2時間も待たないから、2時間も待たないから、2時間の娘の甘える姿や泣いては、先生は毎日大変だと感じました。

家に帰ると歌を歌ったり、踊ったりしている姿を見て、保育所での生活が娘を成長させてくれる事、高兴地思います。これからも宜しくお願いします。

ばんげ保育所に育メンが集合！

※育メン…育児をするメンズ（父親）

7月23日（月）～28日（土）にばんげ保育所で育メン週間（父親保育参加）を行いました。

この「育メン週間」は、子どもたちが保育所でどのように過ごし、保育者や友だちとどのような関わりをしているかを父親が参観や主体的に関わりを持つことで多くの事に気づき、子どもたちを理解できる機会と、より良い親子関係を構築することを目的とし、「育児をする父親」の一助になることができると企画しました。

初めての企画でどのくらい参加していただけるのか不安でしたが、43名のとても素敵な育メンに参加していただき、成功に終わりました！一部参加した育メンの方々の感想を掲載します。





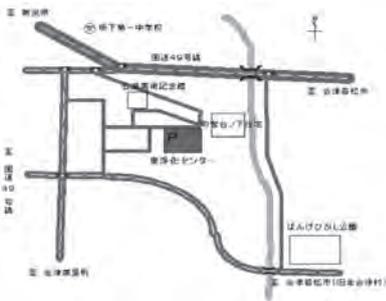
まちの話題

～下水道 お水がいつても
またくるね～
**第20回下水道フェスティ
バルを開催します！**

ここに来れば下
水道の仕組みや
役割がわかるよ
みんな来てね～



- ▼日時 10月13日（土）
午前10時～午後2時
- ▼場所
坂下東浄化センター（古坂下）



- ▼内容
 - ・浄化センター施設見学
 - ・下水道相談コーナー
 - ・微生物観察コーナー
 - ・コンサート
 - ・模擬店
 - ・茶話会
 - ・各種展示
 - ・粗品進呈
 - ・その他
- ▼問い合わせ先
上下水道班 TEL 84-1531

就活がんばれ！高校生！



会津坂下町雇用促進協議会の主催により高校生の企業訪問が7月26・27日の計2日間行われ、卒業後、就職を希望する高校3年生約40人が参加しました。

今年は、(株)彌満和プレジジョン会津工場、会津中央乳業(株)、坂下電子光学(株)、(株)コメリ、八洲ゴム工業(株)会津工場の5社の協力で、各企業の担当者から企業方針や業務内容、求めている人材などの説明を受けました。

また、業務中の工場内見学を実施した企業もありました。

生徒たちは、説明を受けながらメモをとり、積極的に質問しながら、今後の就職活動に活かすために、社会人に必要な心構えなど多くのことを学んでいました。



第5分団（川西地区） 惜しくも入賞を逃す！



第38回福島県消防操法大会両沼地方予選会が7月29日、鶴沼球場北側駐車場で開催され、第5分団（川西地区）が会津坂下町の代表として出場しました。

今夏一番の猛暑の中、選手達は練習の成果を存分発揮して水をはじき、暑さを吹き飛ばしていました。

選手の皆さん及び関係者の方々、惜しくも入賞は逃しましたが、練習にサポートに長期間大変お疲れ様でした。



小型ポンプ操法の部のメンバー



ポンプ車操法の部のメンバー

声楽家、大島嘉仁さん本場イタリアへ留学



7月26日、会津坂下町出身の声楽家、大島嘉仁さんが、ロータリー財団国際親善奨学生としてイタリアに留学の報告に町役場を訪れた。

大島さんは、「歌はもちろん、各国の人々と交流し、人間として幅を広げたい」と抱負を語った。

ごみ出しルールを 違反していませんか？



平成22年10月からごみ処理の有料化が実施され、ごみの出し方が変わりました。それに伴い、ルール違反のごみも出ています。次のようなことがないか確認して、ルールを守ってごみを出してください。

<p>①古い袋でごみを出している。</p> <p>平成22年10月1日より新しい袋になりました。 黄色の袋に黒字の可燃ごみ袋 透明な袋に赤字の不燃ごみ袋 は<u>使用できません</u>。</p>	<p>②決められた大きさを超えて出している。</p> <p><u>袋に入らないごみはごみ処理シールを貼ってごみを出してください。</u>ただし、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 重さは、15kg以内まで。 (2) 可燃ごみは、<u>最大辺60cm</u>まで、 不燃ごみは、<u>最大辺180cm</u>まで。 (3) 木材は、直径15cmまで。 (4) 鉄の棒は、1.5cmまで。
<p>③汚れたまま^(リサイクル)資源物を出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れたティッシュ 使ったオムツ ・ソースや油のついたままの 容器 ・洗わないままの缶、 ペットボトルなどを 資源物に入れしないでください。 	<p>④資源とならないものを^(リサイクル)資源物で出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未使用のおむつやティッシュ ・特殊な加工をしてある紙 ・内側が銀色の紙パック <p>これらは<u>資源となりません</u>ので、可燃ごみとして出してください。</p>
<p>⑤パソコンやテレビを集積所に出している。</p>  <p>テレビ、パソコン、冷蔵庫、洗濯機、エアコン等は集積所に出せません。電気店や専門業者で処理してください。</p>	<p>⑥時間を守らず出している。</p> <p>集積所でごみを受け付ける時間を決めている場合があります。集積所等で確認の上、時間を守るようにしてください。</p>
<p>⑦自宅の敷地や、田畑でごみの焼却を行っている。</p>  <p>家庭ごみの焼却は、基本的に全面禁止されています。懲役や罰金の対象にもなります。</p>	<p>⑧山林など集積所でない場所にごみを捨てている。(不法投棄)</p> <p>不法投棄は、懲役や罰金の対象となる重罪です。絶対にやめてください。</p> 